

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

高松市平和記念館が開館10周年の今年、
終戦後 81年に考える“平和”とは。

第36回 高松市 戦争遺品展

第27回 高松市 戦争遺品展
平成29年 7月20日～7月26日
市民交流プラザ IKODE瓦町 展示コーナー
高松市常盤町 1-3-1 瓦町FLAG2階

～戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう～

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

第28回 高松市戦争遺品展
と き：平成30年 7月19日（木）～7月25日（水）
と ころ：瓦町FLAG2階コンコース
高松市常盤町1-3-1

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

第29回 高松市戦争遺品展
と き：令和元年 7月23日（火）～7月29日（月）
と ころ：瓦町FLAG2階コンコース（瓦町駅改札前）
高松市常盤町1-3-1

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

第30回 高松市戦争遺品展
と き：令和2年 7月14日（火）～7月20日（月）
と ころ：瓦町FLAG2階コンコース（瓦町駅改札前）
高松市常盤町1-3-1

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

第31回 高松市戦争遺品展
と き：令和3年 7月13日（火）～7月19日（月）
と ころ：瓦町FLAG2階コンコース（瓦町駅改札前）
高松市常盤町1-3-1

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

第32回 高松市戦争遺品展
と き：令和4年 7月12日（火）～7月18日（月）
と ころ：瓦町FLAG2階コンコース（瓦町駅改札前）
高松市常盤町1-3-1

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

第33回 高松市戦争遺品展
と き：令和5年 7月13日（木）～7月19日（水）
と ころ：瓦町FLAG2階コンコース（瓦町駅改札前）
高松市常盤町1-3-1

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

第34回 高松市戦争遺品展
武器なき戦士たち
戦地へ行かなくても 兵器を持たなくても 戦っていた人たちがいました

と き：令和6年 7月12日（金）～7月18日（木）
と ころ：瓦町FLAG2階コンコース（瓦町駅改札前）
高松市常盤町1-3-1

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ごう

第35回 高松市 戦争遺品展
戦争は終わりましたが
と き：令和7年 7月12日（土）～7月18日（金）
と ころ：瓦町FLAG2階コンコース（瓦町駅改札前）
高松市常盤町1-3-1

高松市は、1945（昭和20）年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。この高松空襲から70年余の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、高松空襲などの市民の体験に照らし、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料や当時の生活用品を展示します。これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

令和8年 7月10日(金)～7月16日(木)
午前10時～午後5時 ※最終日16日は午後3時まで

瓦町FLAG2階コンコース(瓦町駅改札前)

高松市は1945(昭和20)年7月4日未明、米軍による空襲を受け、旧市街地の約80%が焦土と化し、86,400人余の方が罹災されました。

この悲惨な高松空襲から81年の長い年月が過ぎて、戦争を体験された人々も次第に少なくなり、悲惨な戦争の記憶が風化しつつあります。

このような中、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を永く後世に伝えるため、戦争に関する資料を展示します。

これらの展示品を通して、平和について自ら考える場としていただきたいと存じます。

主催／高松市

高松市平和記念館ホームページ▶

高松

